



FACADE

ファサード

あたたかく出迎え、
「住まいの顔」としての
印象を高めます。

門まわり P.198

アプローチ P.202

ポーチ P.208

門まわりのタイプに合わせてプランニングしましょう。

門 袖

表札やポストを照らす。

明るさ目安
表札の文字が読める明るさ

10 lx~*



ドアホンのカメラに光が直接入ると、室内の親機の画面が白くぼやけてしまうおそれがあるので、ドアホンとあかりはずらして配置しましょう。

ポストが後出しタイプなら、門袖裏の取り出しが付近にもあかりを。

植栽を照らして、華やかさをプラス。

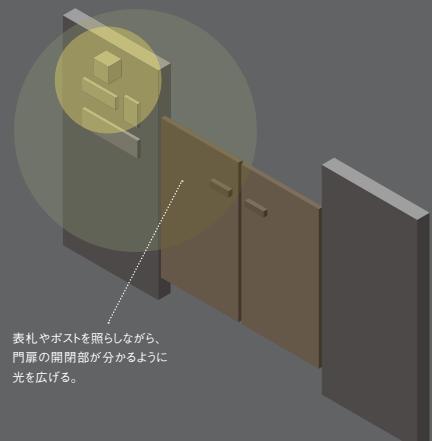
演出のあかりを配置。
明るさ目安
門袖の色が見える明るさ

30 lx~*

*明るさの目安は、パナソニックの独自基準です。
当社製品を適切な位置で正しく使用すれば、明るさを確保できます。

門 壁

表札やポストを照らしながら、門扉の開閉部が分かるように光を広げる。

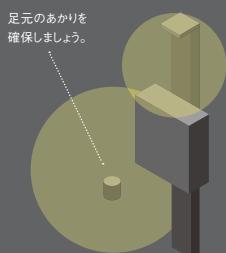
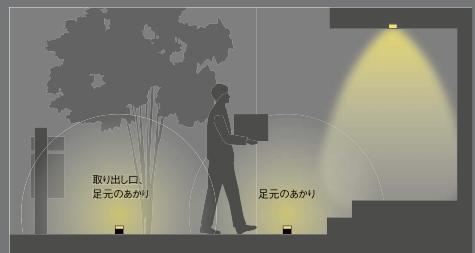


機能門柱

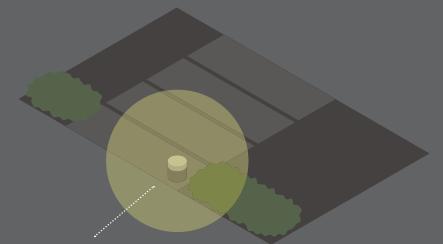


宅配ボックスがある場合は、取り出しがあかりを。

夜間の利用が多い宅配ボックス。荷物を持って移動するので、取り出しが周辺とアプローチのあかりを確保しておきましょう。



足元のあかりを確保しましょう。



道路と敷地の境界をあかりで強調。

門がない場合

01

ポスト幅に合わせて、
サイズをセレクト。

表札もポストと照明の幅に
納まるように配置すれば、
明るさを確保しながら、
門まわりがすっきりします。



おすすめ器具
表札灯
LGW46141ZLE1
→P.252



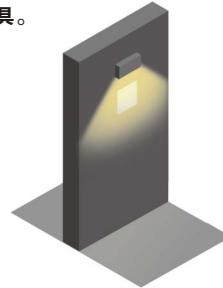
02

表札だけの場合は、
コンパクトな器具。

門扉がすっきりとして、
表札が強調されます。



おすすめ器具
表札灯
LGW46161ZLE1
→P.253



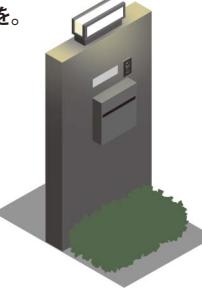
07

器具を取り替える場合は、
取付面が大きいものを。

蛍光灯器具からの
取り替えの際、
既設器具の跡形が隠せます。



おすすめ器具
門柱灯
LGW56099BF
→P.248



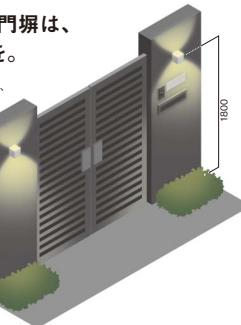
08

背が高く、ワイドな門扉は、
両サイドにあかりを。

左右にプラケットなどを取り付け、
明るさを確保しながら、
風格のある門まわりを
演出します。



おすすめ器具
プラケット
LGW81512LE1
→P.286



03

テクスチャーを引き立てるなら、
下から照らし上げて。

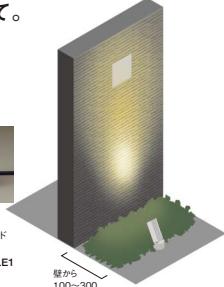
スポットライトなどで
照らし上げることで、
テクスチャーの立体感が
引き立ちます。



おすすめ器具
スポットライト
LGW40081LE1
→P.281



おすすめ器具
エクステリアスタンド
LGW45820LE1
→P.258



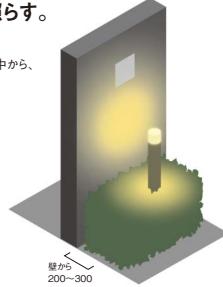
04

植え込みがある場合は、
表札と一緒に照らす。

全般拡散タイプの
ポールライトなどで植栽の中から、
門まわり全体を
やわらかく照らします。



おすすめ器具
ポールライト
LGエントランズライト
XLGE5030SK
→P.270



09

軒を利用して、
全体を明るく。

門に軒がある場合は
ダウンライトやシーリングライトで、
門まわり全体を
光を広げましょう。



おすすめ器具
小型シーリングライト
LGW51503LE1
→P.301



05

オープン外構の門扉は、
すっきりと納まるあかりを。

外側にも内側にも
光を広げるタイプなら、
後出しのポストの
あかりとしても便利です。



おすすめ器具
門柱灯
LGW85080Z
→P.246



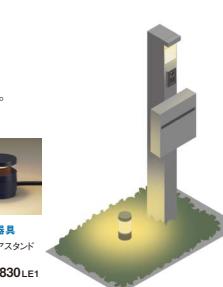
06

機能門柱には、
足元灯。

機能門柱の存在を
アピールしながら
足元の明るさを確保します。



おすすめ器具
エクステリアスタンド
明るさセンサLED
LGWJ56563AK
→P.261

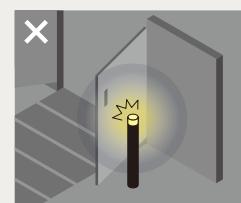


プランニングの注意点

光の向きを調整して、道路を
通行する人がまぶしくないように。

門扉を開けた際、ポールライト
がぶつからないように。

照らしたい場所を植栽などで
遮って、影をつくらないように。



足元の明るさや演出を意識して、プランニングしましょう。

足元の明るさは1lx(ルクス)以上確保を。

一般的に推奨されるアプローチの明るさは5lxですが、人によっては明る過ぎると感じられることがあります。パナソニックでは最低必要照度として1lx以上をおすすめしています。

明るさ目安 最低必要照度
1lx~

※明るさの目安はパナソニックの独自基準です。当社製品を通じて位置で正しく使用すれば、明るさを確保できます。

段差を照らす。

植栽をライトアップして華やかに。

コーナーに置いてアプローチのラインを際立てる。

歩行時のまぶしさに配慮を。

上方配光の器具は、発光部が直接視界に入らないように端に寄せましょう。

△ 奥が暗い

○ 奥が明るい

壁のないアプローチ

明るさ目安 最低必要照度
1lx~

※明るさを確保できる配灯については、P.205をご覧ください。

光が上ではなく、足元に広がるようなあかり。

壁のあるアプローチ

連灯するなら、スカラップがキレイに浮かぶように。

明るさ目安 光の交差部
6lx~

※配灯ビッチについては、P.279をご覧ください。

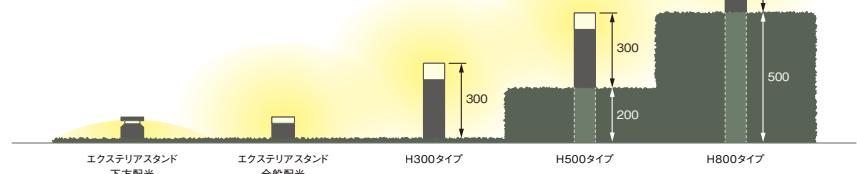
壁を照らして、明るさ感をアップ。

間接光で足元の明るさの確保が可能。

ポールライトは、設置場所に合わせて高さ、配光をセレクト。

高さバリエーション

植込み内に設置する場合は、発光部と植込みの距離を300mm以上確保しましょう。ほどよい明るさで光がまわり、バランスよく納まります。

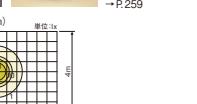


配光バリエーション

下方配光タイプ

足元へのあかりを際立て、
しっとりとした雰囲気に。

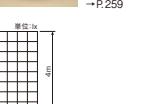
光源が直接視界に入らないので、
まぶしさが軽減されます。



全般拡散タイプ

アプローチに、
光のアクセントを。

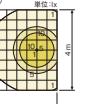
カバーで光を優しく拡散。
アプローチに沿って配置することで、
ポーチまで家族を導きます。



全般拡散タイプ

アプローチや
門まわりなどに。

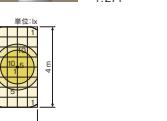
全方向に光を広げるタイプ。
さまざまな場所で使用できる
スタンダードなポールライトです。



遮光タイプ

階段のある
アプローチに。

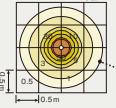
足元を明るく照らしながら、
遮光板で歩行者への
まぶしさを抑えます。



【足元の明るさが確保できる器具ピッチ】

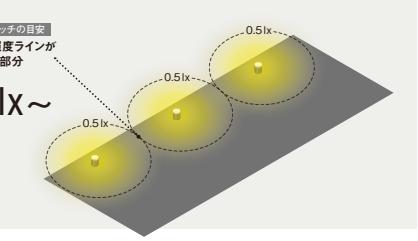
床面照度を最低約1lx程度確保する。

0.5lxの床面照度ライン同士
が交わるよう器具ピッチを
調整して配灯すれば、足元の
明るさに最低限必要な1lxが
確保できます。



1 lx ~

0.5 lx



下面配光タイプ

アプローチの
植込みに。

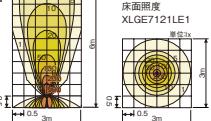
ポールの根元付近にも光を
広げる所以、植込みをしっかりと
照らしつつ、足元も明るく。



上下配光タイプ

シンボルツリーと
低い草花を照らす。

枝の張った木を
下から照らし足元の低い植栽も
同時に照らします。

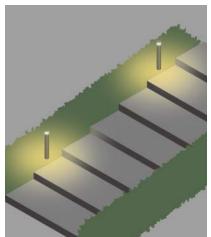


Facade のアプローチ

01

植栽や花壇がある場合は、ポールライト。

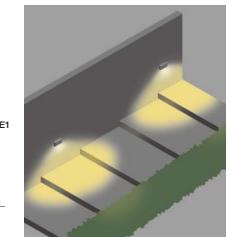
階段の上り下りを考え、植栽の中にグレアの少ない下方配光タイプ。



02

壁がある場合は、足元灯。

コンパクトなデザインですっきり。階段下から見上げた際、光源が視界に入らない位置に。

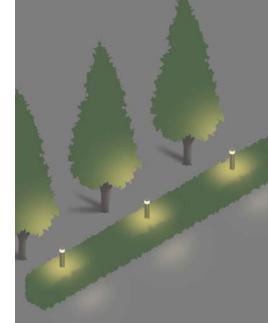


壁のないアプローチ

01

植栽と花壇がある場合は、ポールライト。

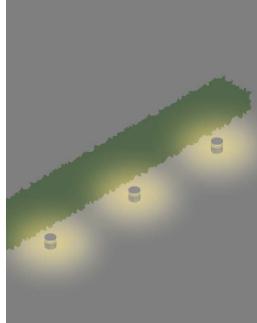
草花を照らしながら、足元も明るく。ポールの高さは、植栽に合わせて。



02

まぶしさに配慮するなら、下方配光タイプ。

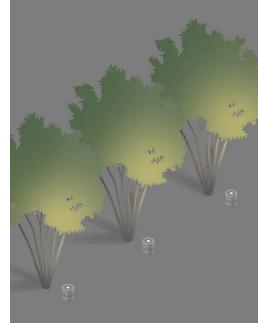
明るさを確保しながら、器具の存在感も抑えられすっきりとしたアプローチが生まれます。



03

リズムよく植栽を配置して、ライトアップ。

光る存在をつくり、アプローチのラインを際立たせオーナーへと満ちます。

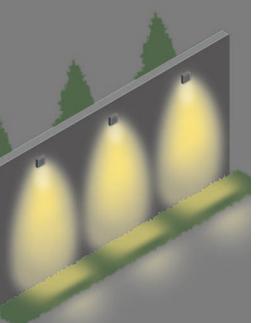


壁のあるアプローチ

01

堀がある場合は、プラケット。

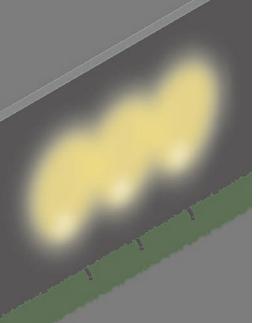
堀も照らされ、明るさもアップ。歩行を妨げないよう、出しきの少ない器具を。



02

壁が高い場合は、下から照らし上げるよう。

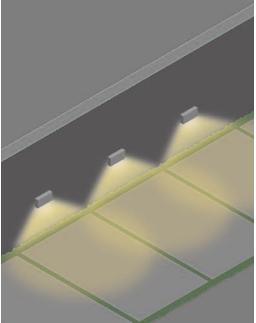
スポットライトなら、光の向きを調整できるので、まぶしさにも配慮が可能。フレードをプラスすれば、よりグレアをカットできます。



03

壁が低い場合は、足元灯を。

存在感を主張せずすっきり納まるようにコンパクトなデザインがおすすめ。



プランニングの注意点

出しきを抑えた器具やまぶしさに配慮した器具で、通行の邪魔にならないように。



通行時、光を遮らない位置や段差をきちんと照らせる器具で配灯しましょう。



下方配光タイプで壁を照らすと、壁にセードのラインが出るので注意しましょう。



ダウンライト

軒下にすっきり納まります。
拡散と集光の2種類の配光タイプをラインアップ。

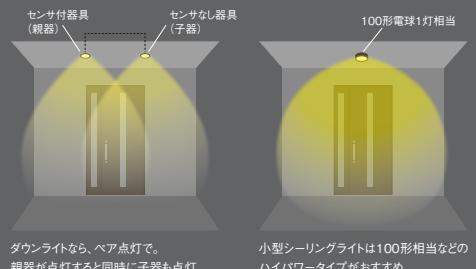


小型シーリングライト

ポーチ全体に光がまわり、しっかり明るく。
軒下に埋込施工ができない場合にもおすすめ。

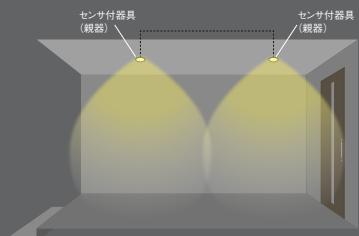


2700mm以上の間口が広い
ポーチの場合は
複数灯使いや、
ハイパワーのあかりで。



ダウンライトなら、ペア点灯で。
親器が点灯すると同時に子器も点灯。

奥行きのある軒の場合は、
センサ付器具を手前と奥に
設置し、ペア点灯。



どちらかの器具が反応すると、全てのあかりが同時に点灯。
帰宅時もお出かけ時にも便利です。

壁に取り付ける場合

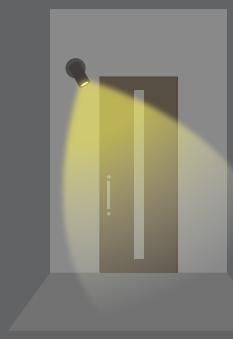
ポーチライト・プラケット

器具に存在感があり、華やかな雰囲気を演出。
デザインが豊富で、好みに合わせてお選びいただけます。



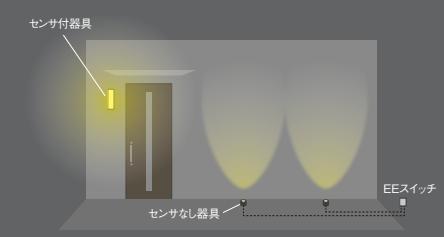
スポットライト

照射方向を変えられるので、細かな調節が可能。
メリハリのある光で、印象的なポーチを演出できます。



玄関横に広い壁面が
ある場合は、ライトアップして、
ポーチを演出。

壁面ライトアップについて詳しくはP.230へ



センサがない器具の場合は、EEスイッチ(P.235)を組み合わせれば、
自動で点灯・消灯するので便利です。

一晩中、点灯したほうがいい? でも、電気代が気になる… (詳しくはP.234へ)

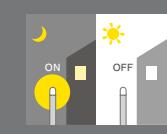
FreePa(ひとセンサ)

ひとを検知して点灯! 便利な機能も。



明るさセンサ

暗くなると点灯。明るくなると消灯。



タイマー

設定時刻に自動でON/OFF。



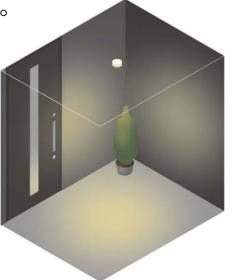
01

華やかに演出するなら、
ポーチライト。器具のデザインは、ファサード
全体で統一を。ドアノブ側の
壁面に取り付けましょう。おすすめ器具
ブラケット
LGWC81401LE1
→P.291

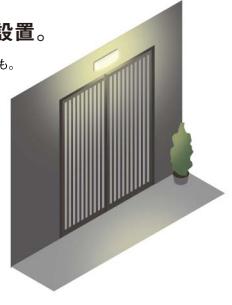
02

集合住宅では、
コンパクトな器具を。歩行の邪魔にならないように、
出ししろを抑えた器具が
おすすめです。おすすめ器具
ブラケット
LGW85280K
→P.246

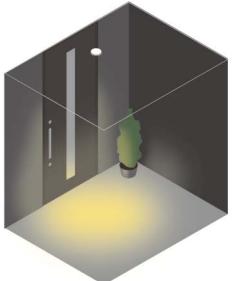
07

軒下に埋込施工ができない場合は、
シーリングライト。玄関ドアを開閉した時、
器具に当たらないか
必ず確認しましょう。おすすめ器具
小型シリーリングライト
LGWC51513LE1
→P.301

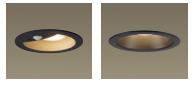
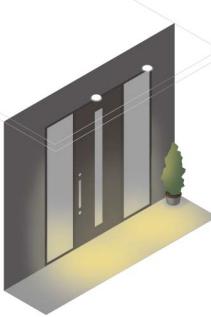
08

引き戸は、
中央にあかりを設置。和風の引き戸などの場合にも。
扉全体が明るくなります。おすすめ器具
和風ブラケット
点灯省エネ型
LGWC85011F
→Expert掲載

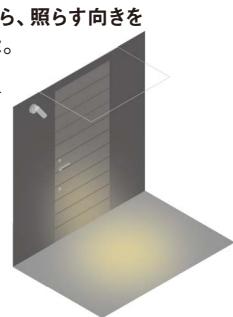
03

すっきりとさせるなら、
ダウンライト。明るさ感を確保するために、
取り付ける際は、壁面や扉から
離さないようにしましょう。おすすめ器具
軒下灯
LGWC71602LE1
→P.299

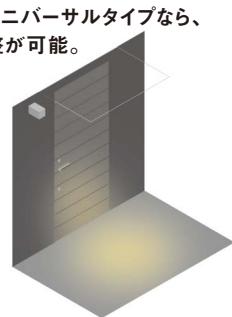
04

広めのポーチは、
ペア点灯。センサ付き器具と
ノーマル器具を組み合わせて、
2灯同時に点灯。センサ付き器具
軒下灯
点灯省エネ型
LGWC71602LE1
→P.299

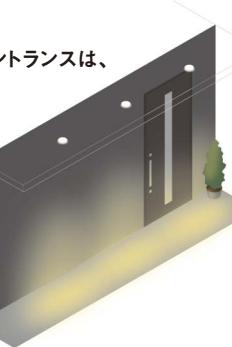
09

スポットライトなら、照らす向きを
細かく調節可能。欲しいところを明るくでき、
メリハリのあるあかり演出が
できます。おすすめ器具
スポットライト
LGW40141LE1
→P.284

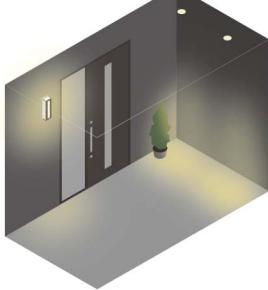
10

ブラケットでもユニバーサルタイプなら、
照射角度の調整が可能。光の向きを変えても
器具のラインは維持。
空間にすっきり納まります。おすすめ器具
ブラケット
点灯省エネ型
LGWB6022LE1
→P.288

05

軒のある長いエントランスは、
精円配光。光が精円に広がり、
足元に明るさが集中。おすすめ器具
軒下灯
LGW76072LE1
→P.297

06

間口が広い場合は、
2種類のあかりで。玄関ドアにはポーチライトを。
サイドの壁面をダウントライトで、
明るさ感をアップさせます。おすすめ器具
ポーチライト
LGWC81415LE1
→Expert掲載

プランニングの注意点

奥行きのあるポーチは、
ドア付近だけでなく、
手前にもあかりを配置
しましょう。住まいの
外観とあかりは、
デザインティストを
合わせましょう。